

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都台東区寿1-5-10 1510ビル3階
団 体 名 特定非営利活動法人ジャパンハート
代表者職・氏名 理事長 吉岡 春菜
電 話 番 号 03-6240-1564

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人ジャパンハート
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

年間を通して台風の接近数が多く、複数の活断層がある九州地域において、災害が起こった際に迅速に被災先に支援が届く地域体制の構築。また、SDGsの普及啓発が広がる佐賀県において、ジャパンハートの活動を通じて実際にある不平等の改善に社会貢献が出来ることで、SDGsアクション人数・寄与が高く、グローバルな視点を持つ人材を排出する県を目指す。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

佐賀県をハブとした災害支援体制を構築することで、自然災害等の発生時に迅速に医療支援を実施することができ、県民の被害の拡大をおさえるための準備が整った。
SDGsの教育が広まる中で、グローバル視点を持つ人材が育成されることで、幅広い視野と多様な価値観を還元することが出来た。

②佐賀から広がった社会像 (該当する活動のみ)

佐賀県内で災害支援活動を行うメンバーが、令和6年能登半島地震の災害支援に参加し、医療支援活動を行った。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
①佐賀県をハブとした災害支援体制の強化事業	①佐賀県をハブとして、九州を初めとする災害時の医療支援体制を構築する。 ②佐賀県を中心とする九州地域 ③災害支援物資の備蓄	① 2023年4月～2024年3月 ②佐賀事務所・佐賀大学鍋島キャンパス	3,400,000	3,400,000
②啓発活動及び人材育成事業	①佐賀県内で講演会を実施し、グローバルな視点を持つ医療従事者や、国際医療に携わる人材を創出する ②参加者約300名 ③佐賀市内でヘジャパンハート最高顧問吉岡秀人による講演を実施	①2023年10月 ②佐賀市	100,000	100,000
③海外医療支援推進事業	①東南アジア開発途上国での医療支援活動と、その国を支える医療従事者の育成 ②カンボジアの小児がんをはじめとする患者 ③ジャパンハートの開設している病院での診療・手術活動および医療者の育成、日本人医療者の受け入れ	①2023年4月～2024年3月 ②カンボジア	9,800,800	9,800,800
計			13,300,800	13,300,800

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		15,608,006
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	15,608,006
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	15,512,399
	前年度控除額(県事務経費)還付分	95,607
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		15,608,006
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	13,300,800
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	2,307,206
	返礼品等の調達に係る費用	1,680,308
	返礼品等の送付に係る費用	8,998
	広報に係る費用	27,540
	事務に係る費用	590,360

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.japanheart.org/>